

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年		
110039	X-01/21-A-1-110039	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年		
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年		
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年		
				【1・3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×		
				【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×		
国際関係論				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年		
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年		

授業目的

本講義では、「アジアの中の日本」を中心的なテーマとしながら、国際関係を理解するための基礎知識を学びます。前半は、国際関係をみるための基本的な考え方、冷戦をはじめとする国際関係の歴史、国際社会が抱える基本的な課題について学び、後半は、日本とかかわりが深い東アジアや東南アジアの地域形成と、この地域での日本の安全保障や外交の基本政策を学ぶことで、国際社会やアジアとの関係の中で日本が抱える課題を理解します。

各回の授業内容

第1回 【授】 はじめに-国際関係をどのように学ぶか 【前・後】 【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第9回 【授】 冷戦後の紛争とテロリズム 【前・後】 【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。
第2回 【授】 国際社会の特徴と国家 【前・後】 【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第10回 【授】 中国-革命と改革開放路線 【前・後】 【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。
第3回 【授】 国際関係を見る分析視点 【前・後】 【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第11回 【授】 朝鮮半島-分断国家と対立 【前・後】 【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。
第4回 【授】 冷戦の始まりと展開 【前・後】 【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第12回 【授】 東南アジア-紛争から地域統合へ 【前・後】 【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。
第5回 【授】 冷戦の変容と終焉 【前・後】 【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第13回 【授】 戦前の日本とアジア 【前・後】 【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。
第6回 【授】 安全保障をめぐる2つの方法 【前・後】 【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第14回 【授】 戦後日本の安全保障 【前・後】 【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。
第7回 【授】 開発途上国をめぐる視点 【前・後】 【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第15回 【授】 戦後の日本とアジア 【前・後】 【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。
第8回 【授】 グローバル化と地域統合 【前・後】 【必要な時間4時間】授業後に授業内容を復習し、紹介された文献を読む。	第16回 【授】 期末試験 【前・後】 【必要な時間4時間】これまでの授業内容を復習しておく。

成績評価方法

【成績評価】中間テスト(30%)、期末テスト(70%)、中間テストを必ず受験しなければならない。

【フィードバックの方法】中間テストの実施後に、問題の要点と回答について受講者に説明する。

【注意事項】授業15回のうち1回分は、レポートで代替します。受講者は、必ず提出してください。

教科書・参考書

指定しない。参考すべき図書は、授業中に紹介する。	受講に当たっての留意事項
受講する学生は、各自でノートを持参してください。	
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性

アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施

×

学習到達目標

①国際関係を構成する基本的な概念（主権国家、現実主義、安全保障など）を理解すること。②アジアを事例に、各地域の国家形成が国際社会から受けた影響を理解すること。③日本が置かれている国際状況とアジアとの関係について理解すること。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習